

地域の方々と豊かな暮らしを創造する

パールだより

2月号

社会福祉法人パール

〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町3-27
電話 03-5458-4811

<http://www.shibuya-pearl.or.jp>

発行日 令和6年2月1日

発行人 新谷弘子 制作編集 入江祐介

パールが大切にしている基本三理念 — 人間の尊厳 — 個人の尊重 — 共に生きる社会づくり

祝

25周年のお祝い



社会福祉法人 パール 理事長
社会福祉活動教育研究所 会長
新谷 弘子

社会福祉法人 パール25周年のお祝い 関係者をお招きして25周年のお祝いの集を開く

2024年4月1日は、社会福祉法人パールが厚労大臣から社会福祉法人の認可が下りて、25周年になります。渋谷区で3つ目に認可された特別養護老人ホームでした。現在、渋谷区に特別養護老人ホームは10施設になっています。少子・高齢化の時代となり、しかも高齢者の年齢は、平均80歳以上。高齢化された高齢者の方々を元気で長生きをしていただく役割は、私たちの施設や、地域住民の大事な役割と考えています。

80歳以上の方々は、約6年間の戦争の後、1945年（昭和20年）以後に働いてきた方々や生まれた方々です。その方々が、戦後の日本の復興に参加されて下さった方々と言えましょう。職業安定所に行って、トラックに乗り、戦後の焼け跡の始末をして、日当は240円（ニコヨン）。1955年位まで続けました。賃金の高い人も、給料は1世帯500円ベースで賃金はストップ。学費や病気の費用については支出ができたと聞きました。

この生活困難への対策として、この時期に「生活保護法」「児童福祉法」「身体障害者福祉法」が次々に整ってきました。その後少しずつ賃金が上がっていきましたが、昭和20～30年代頃までは経済は不安定でした。生活への対応方法として、アメリカから入ってきたノウハウ、ケースワーク（個人に対する方法）、グループワーク（グループで仲間と対応）、コミュニティワーク（地域で助け合う）、知恵やノウハウの対応力が理解されてきました。

次のページ→

昭和時代を過ぎて平成・令和時代になって、医療保険も整い、経済が安定してくると栄養も整い、寿命が延びてきました。すると新しい社会問題が出てきました。経済を先走りで昭和の終わりには、公害問題で、国民の健康問題が著しくなり、社会・健康問題に悩むことになりました。しかし、生活の安定の為に、医療保険・介護保険法、など福祉関係の法律が整ってきたと言える所も出てきました。

今後の、国民の健康に安定を求め、共に生きていく課題は、福祉施設や福祉担当者、地域の課題でもあり、取り分けパールの現在の課題でもあります。

1999年に厚労大臣より、社会福祉法人の認可を頂いて施設を開設して以来、今年4月で創立25年を迎え、本年の4月1日は、パールの25周年のお祝いの年です。理事長：新谷弘子と、亡き夫：新谷富士雄の郷里である、山口県萩市の「萩・パール在宅介護支援センター」と同時に社会福祉法人の認可が下りたため、パールは厚労大臣認可の社会福祉法人で認可が下りました。

それまでは、渋谷区渋谷1丁目にて社会福祉活動教育研究所を開設して、東京都から在宅介護や配食サービス、ハンデキャブなどの実績を残してきました。どのような施設を開設したらよいか？イギリスを始め、西ドイツ・フランス・イタリア・スウェーデンなどを東社協や全社協などの助言を受けて、仲間16人と見学をしてきました。結果、日本の建築家協会副会長の椎名政夫氏の助言も受けて、石原・山口計画研究所の設計で、当施設が1999年に完成いたしました。翌年の2000年から、介護保険法が施行され、1999年はその準備で大変でした。措置から契約の制度になり、私たちは、介護支援専門員の資格を取得（山口カネ子・新谷弘子を始め4人が合格）。それまで、サービスを受けていた方々の認定調査を実施し、2000年の4月1日から、順調に介護保険法による施設となり、前年の開設を加えて、本年が開設25周年の年となりました。

25周年記念の行事は、以下の通り開催いたします。

2024年4月1日	月曜日	創立記念式典 11時から14時	4階にて 食事付き 渋谷区長を始め区議会議員や関係者が参加されます 都立一商の楽団が参加・六本木じろうさん他
2024年4月7日	日曜日	11時から15時	4階にて 食事付き 理事・評議員・町会長方・フラメンコ・記念講演・出演者多数

ご出席をお待ちしております。本部にお申し出ください。

デイサービスセンター パール鉢山

復活!

伊藤忠商事

ボランティアの皆様による

2024. 1. 13 (土)

「朗読&うた」



デイサービスセンター・パール鉢山
生活相談員 渡部 耕三

デイサービスセンター・パール鉢山のレクリエーションに20年以上にわたり協力して下さった「伊藤忠商事朗読ボランティア」の皆様が4年ぶりに来訪!

ユニークな題材を探し、選んでいただいたプログラムの「朗読」では、ご利用者の皆様も「うん、うん」と頷きながら耳を傾けていらっしゃいました。

また、後半にはかつてのように懐かしい「唱歌」の数々を全員で歌い、大いに盛り上がりました。

コロナ禍の間は、感染予防のため他のボランティアの皆様同様、来訪を自粛されていましたが、この4年間の間に、グループの皆様を取り巻く状況も大きく変わり、今回はご都合の合う方々がパールの為に、お集まりくださいました。

以前の様に定期的には開催することは出来ませんが、今後もお都合の許す中でお越しいただけるよう、宜しくお願い致します。



認知症対応型通所介護「デイサービスセンター・パール鉢山」 令和5年度 運営指導 ご報告



指定（介護予防）認知症対応型通所介護「デイサービスセンター パール鉢山」が、「令和5年度 運営指導」を渋谷区より実施していただきました。

「文書により指摘する事項は認められませんでした。指導当日に助言した事項も踏まえ、より良い事業所運営に努めてください」との結果通知をいただきました。

今後も職員一同、より皆様に満足していただける事業実施を目指して参ります。

デイサービスセンター・パール鉢山
認知症対応型デイサービス



ほのぼののクラス ご利用者募集中！

- ☆ 「笑顔」と「笑い声」に満ち、楽しく、充実した時間を過ごしましょう！
- ☆ 元気な機能はどんどん使い、生きがいを持って人生を送りましょう！
- ☆ 共に助け合い、住み慣れた地域の輪を広げましょう！

～ それが私たちの願いです ～

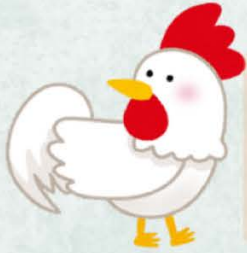


デイサービスセンター・パール鉢山は、「東京都認知症介護研修」の管理者研修受講者2名・リーダーズ研修受講者1名・実践者研修受講者2名を配置し、日々、看護師・機能訓練指導員と多職種連携を図りながら一人一人を大切にサービスの実現を目指す「認知症対応専門機関」です。

どうぞご安心して、ご利用ください！職員一同、心よりお待ちしております。



地鶏、銘柄鶏とはなに？



スーパーで“〇〇地鶏”と名前の付いた鶏肉を見かけませんか？

お値段も普通の鶏肉よりも高いけど何が違うんだろう？と疑問に思ったことはありませんか？

特徴を知り、ぜひ味わってみてください！

栄養・調理センター
管理栄養士 片岡 直輝

地鶏

- ・日本の在来種の血を50%以上引くこと。(JAS規格)
- ・飼育期間が長く、広い飼育環境でのびのび育てる。
- ・しっかりした噛み応えと濃いうまみ。

銘柄鶏

- ・地鶏よりも大きくなる。
- ・生産者によって飼育方法が違う。(餌や飼育期間など)
- ・若鳥(ブロイラー)のように柔らかい肉質のものから地鶏のようなしっかりした噛み応えのものまでさまざま。



出汁まで味わう水炊き

材料 (3~4人分)

- | | | | |
|-------------|-------|-------|------------|
| ・鶏お好みの部位 | ・250g | ・水 | ・1ℓ |
| (もも肉なら約1枚分) | | ・昆布 | ・10g (小1枚) |
| ・白菜 | ・250g | ・塩 | ・小さじ2 |
| ・豆腐 | ・1/2丁 | ・薄口醤油 | ・大さじ1 |
| ・ねぎ | ・1本 | ・みりん | ・小さじ2 |
| ・椎茸 | ・4枚 | ・酒 | ・大さじ1 |
| ・春菊 | ・1/2袋 | | |



- ① 鍋に水と昆布を入れ弱火にかけ、だしを取る。
- ② 昆布を取り出してから鶏肉を入れ、あくを取りながら5分煮る。
- ③ 野菜と調味料を入れて煮込む。
- ④ 野菜に火が通れば完成。お好みでポン酢等をかけてお召し上がりください。



事例報告

福祉用具貸与の効果と役割



パール福祉用具総合センター
管理者 原子 隆幸

1. 福祉用具とは

介護保険給付の対象（貸与・販売）となる福祉用具の範囲は、「要介護者等の日常生活上の便宜を図るための用具及び、要介護者等の機能訓練のための用具であって、要介護者の日常生活の自立を助けるためのもの」（介護保険法第8条）とされ、厚生労働省告示により「貸与」13種目、「販売」5種目が定められています。

介護保険制度では、ご利用者の身体状況や要介護度の変化、福祉用具の機能の向上に応じて、適時・適切な福祉用具がご利用者に提供できるよう、また、資源の有効活用等の考え方から福祉用具は「貸与（レンタル）」が原則です。しかしながら、入浴、排せつに供する物のように他人が使用したものを再利用する事に心理的抵抗感があるもの、使用により元の形態や品質が変化し再利用が困難なものなどについては、「販売」の対象となっています。

2. 福祉用具の役割

福祉用具は、ご利用者がその人らしい生活を構築するための道具であり、また共に暮らす同居人、或いは介助者の生活も支えるものであるのが理想だと考えます。

生活を支えるための方法には、福祉用具の活用だけではなく、他の人的支援やサービスの利用等も組み合わせて考える必要があります。その中で、どの福祉用具をどのような場面で使用し、それをどの時期に導入すると、無理なく効果的に福祉用具を活用した生活動作が可能となるかを、ご利用者の身体機能・介助者の介助能力・環境要因・経済力などを総合的に検討することが大切です。



3. 身体機能に福祉用具が与える影響

福祉用具の中には、その使い方によっては身体機能に影響を及ぼすものがあります。

特殊寝台・車椅子などは、その代表的なものです。特に車椅子は、身体機能だけでなく、その使用目的・使用環境・介助者の有無など考慮すべき要因が多く、必ずしも身体機能を最優先して選定できるとは限りません。しかし、身体機能に適合しない用具の利用は、車椅子に限らず用具を使用することで起こる二次障害の原因となることを考慮しなければなりません。言い換えると、適合した用具の利用によって、ご利用者の持っている能力を引き出すこともできると考えます。



【 おわりに 】

福祉用具の導入事例を紹介しながら、福祉用具導入時に気を付けていることについて整理しました。福祉用具の導入は、それが目的ではなく、実現したい生活の構築のために行う方法の一つです。各福祉用具の導入により、どの動作が変わり、その先にある生活にどのような影響があるかを考えながら取り組んでいきたいと思えます。また、福祉用具を導入したことで終わるのではなく、経過を追いつつ必要な変更を行っていくことも必要な過程です。福祉用具の導入を検討している方の参考になれば幸いです。

社会福祉法人の使命

～ 地域貢献事業への取り組み ～



特別養護老人ホーム・パール代官山
施設長 入江 祐介

令和2年度から令和4年度の3年間は、新型コロナウイルス感染症により、どの法人も地域との交流が持てずにいたことでしょう。令和5年5月のコロナ5類移行後、徐々に地域との交流を再開したところでしょうか？

当法人の最大の特徴は、地域と共に成長する法人として積極的に地域に出向き、地域貢献事業を展開してきたことです。令和5年度は、その地域貢献事業を徐々に再開。4月の南平台町バザーに始まり、恵比寿ふれあい広場（バザー）、恵比寿盆踊り大会、鉢山町会子ども神輿、恵比寿地区連合町会合同の大運動会、敬老会、渋谷区くみんの広場（バザー）、コミュニティカフェ・キッチンパール、子どもテーブル活動、高齢者の集いの場パールライブ活動など、地域の方々と連携しながら様々な地域活動を実施して参りました。

施設を母体としながら施設完結型ではなく、寧ろ地域に積極的に出向くことによって地域に開けた施設運営をしていくことが大切。受け身の姿勢ではなく法人自らが地域にアプローチし、地域の方々の生の声を聴くことでより地域を知り、地域で課題となっていることを肌で感じていくことが大事と考えております。

当法人は、制度がないから出来ないではなく、どうしたら地域の困った声に応えられるかを常に考え、創意工夫をしながら実践・行動しているところです。こうした活動を実現・維持していくためには、職員の高い意識と努力も当然ですが、地域の方々のご協力がなくては成し得ないことです。また、ご協力をいただくためには助けを求めるだけでなく、施設側から積極的に地域活動に協力していくことが大切です。



昨年暮れには、年末の一大イベントである、鉢山町会の夜警が12月26日に開催。当日の夜警・地域パトロールには、施設長・副施設長・本部と原宿の居宅介護支援事業所管理者が参加し、寒さ厳しい中、地域と一緒に練り歩きました。町会のお祭り準備などもそうですが、一緒に苦労を共にし、一緒に楽しみを分かち合うことで、はじめて真の絆・連携が生まれるのだと確信しています。

改正社会福祉法（平成28年3月31日成立）では、社会福祉法人に地域貢献事業が義務化されました。コロナ禍で一時中断を余儀なくされてきましたが、それぞれの法人が日頃から活動していることに誇りと自信を持ち、地域貢献事業への取り組みを改めてアピールする良い機会としていきたいと思います！

 2023年1月 		
1	月	元日
3	水	デイサービス,配食営業再開
9	火	経営会議・品質会議・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)
10	水	訪問看護連絡協議会(訪看)
15	月	在宅カンファ(在生)
16	火	経営会議・ケアカンファ・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)
23	火	経営会議・品質会議・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議・カンファ(訪看)(用具)
24	水	経口維持会議
26	金	サービス担当者会議(特養)
28	日	特養イベント食(特養)・給食会議(特養)
29	月	在宅カンファ(在生)
30	火	経営会議・ケアカンファ・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議・カンファ(訪看)(用具)

1月業務実績報告		
施設介護 稼働率	特養	97.2%
	短期入所	97.4%
通所介護 稼働率	一般クラス	72.6%
	認知クラス	52.2%
訪問介護 1日平均利用件数	本部	40件
	原宿	13件
訪問看護	1日平均利用件数	14件
居宅介護支援実 績件数	本部	125件
	恵比寿	99件
	原宿	107件
福祉用具	貸与者数	173件
配食サービス	1日平均利用食数	137食
キッチンパール	1日平均利用食数	17食

特別養護老人ホーム パール代官山



海鮮丼



1月のイベント食

鮪のたたき、サーモン、ホタテ、鰯、いくら等々、施設生活ではなかなか召し上がれない、生ものをご提供です。

普段食事量が少ない方も、海鮮丼は全量召し上がれました！

皆お刺身が大好きなんだなあと、召し上がっている姿を見てしみじみ思いました。

鮪のたたきは柔らかいですし、飲み込みに不安のある方でも美味しく楽しめました。

